

# 子どもの成長と発達への支援

舞鶴市福祉部子ども支援課  
瀬野 勝久



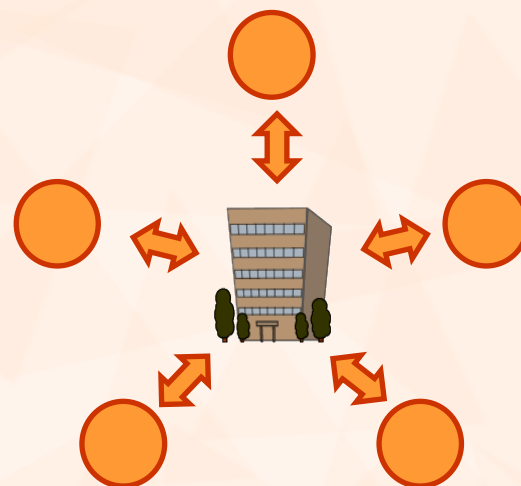
## 主な施設資源

- ▶ 幼稚園 13園(民間 12園、公立 1園)
- ▶ 保育所 17園(民間 12園、公立 5園)
- ▶ 認可外保育所 4園
- ▶ 小学校 20校、中学校 8校
- ▶ 子育て支援センター センター型1か所、小規模型2か所
- ▶ 京都府立舞鶴こども療育センター
- ▶ 市保健センター
- ▶ 舞鶴こども発達支援施設「さくらんぼ園」
- ▶ 京都府立舞鶴養護学校
- ▶ 京都府中丹東保健所
- ▶ 市子ども未来室 〈子ども育成課・子ども支援課〉

# 自治体における早期発見・早期支援システムのパターン

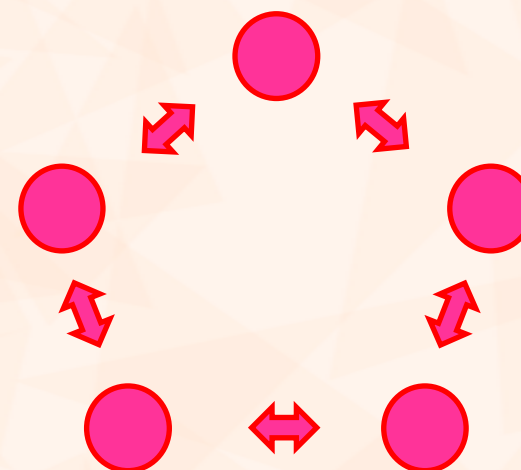
## ■拠点型

保健、福祉、教育、医療等、いずれかが中心となり、新たな総合的な拠点整備も含め、地域の課題に対応する。



## ■ネットワーク型

保健、福祉、教育、医療等の既存の施設資源を活用し、相互に補完し合いながら、地域の課題に対応する。



## 舞鶴の視点 = ネットワーク型

今の施設資源を前提に、

- ・現地現場主義。
- ・広義の共通目標。 ⇒ みんなで「子どもの成長と発達の支援」
- ・責任分担。
- ・情報共有。
- ・相互支援。 ⇒ 職員交流など

# 取り組みの全体

## ◎ 幼保小連携発達支援会議

早期  
発見

① 1歳6か月児健診(M-CHAT)

市保健センター  
(独)国立精神・神経医療研究  
センター

早期  
支援

② のびのび教室、すくすく教室等

市保健センター

③ にじいろ個別支援システム

市子ども支援課  
市子ども育成課

④ 年中児発達サポート事業

市子ども支援課  
府中丹東保健所

⑤ 舞鶴こども発達支援施設「さくらんぼ園」

市子ども支援課  
市社会福祉協議会

一貫した  
支援

⑥ 発達支援ファイル

市子ども支援課  
府立舞鶴こども療育センター

⑦ 個別(教育)支援計画

市教育委員会  
府立舞鶴養護学校

⑧ 関係職員研修

市子ども支援課  
市教育委員会  
府立舞鶴養護学校

⑨ 啓発

市子ども支援課

# 1歳6か月児健診（M-CHAT）

## M-CHAT (Modified Checklist for Autism in Toddlers)

23項目（舞鶴市では24項目）の質問に、保護者がはい・いいえで答える質問紙。通常、1歳6か月までに芽生えがみられる社会的発達をチェックするツール。健診時に芽生えが確認できなかった子どもについては、電話や面接など引き続き経過観察。



のびのび教室、すくすく教室等

【市保健センター】

((独)国立精神・神経医療研究センター)

# 早期支援の教室

## ➤ のびのび・すくすく教室

親子が遊びを通して、関わり方や遊び方を学び、子どもの成長を促す関わり方ができるよう支援。

のびのび教室は2歳前後を対象。

すくすく教室は2歳半～3歳を対象。

## ➤ 子どものほめ方教室

子どもとの関わり方に不安や悩みを抱える保護者を対象。

子どもの行動の意味を理解し、ほめて育てることの大切さを学び、楽しく育児ができるよう支援。

【市保健センター】



# にじいろ個別支援システム 〈保育所〉

目的: 年齢に応じた成長と発達という視点から、支援が必要な園児に対して、適切な支援方法を助言し、個別の支援につなげる。

保育所からの依頼

- ・各保育所の発達支援コーディネーターが、SCDCやS-M社会生活能力検査などを組み合わせたオリジナルチェックリストを用い、社会性や認知・言語面、運動面など集団生活をとおして支援が必要と思われる園児について状況等を記入(平成22年度より自園で新版K式発達検査を実施)し、市宛に検討依頼。

園巡回(集団行動観察)

- ・市内の専門機関等で構成する個別支援検討会議(※)が保育所を巡回。
- (※)個別支援検討会議メンバー  
舞鶴こども発達支援施設「さくらんぼ園」  
京都府立舞鶴養護学校、市内公私保育所、舞鶴市

支援内容検討会議

- ・保育所等での支援内容の助言や、発達支援保育士の配置の検討・・・★

保育所への結果通知

個別の支援へ

- ・★による個別支援開始。
- ・保護者とともに個別支援計画を策定し、計画に基づく支援。就学時には、就学先への移行支援。

【市子ども支援課】

# 年中児発達サポート事業 〈幼稚園〉

目的: 年中児を対象として、子ども達一人一人について、発達の状態や集団へのなじみにくさを把握するとともに、就学に向けた支援につなげる。

保護者・クラス担任  
「健康観察票」 配付

- ・年中児(4~5歳児)が対象。年中児の保護者とクラス担任に、健康観察票を配付し、記入。市が回収して結果のとりまとめ。

巡回相談(集団行動観察)

- ・市内の専門機関等で構成する巡回相談チーム(※)が各幼稚園の年中児クラスの巡回実施。
- (※)巡回相談チーム  
舞鶴こども発達支援施設「さくらんぼ園」、府立舞鶴養護学校、府保健所、公立保育所、舞鶴市

カンファレンス

- ・保護者宛の結果の内容(問題なし、園支援、要支援、管理中)とその後の支援内容について検討

保護者への通知

個別の支援へ

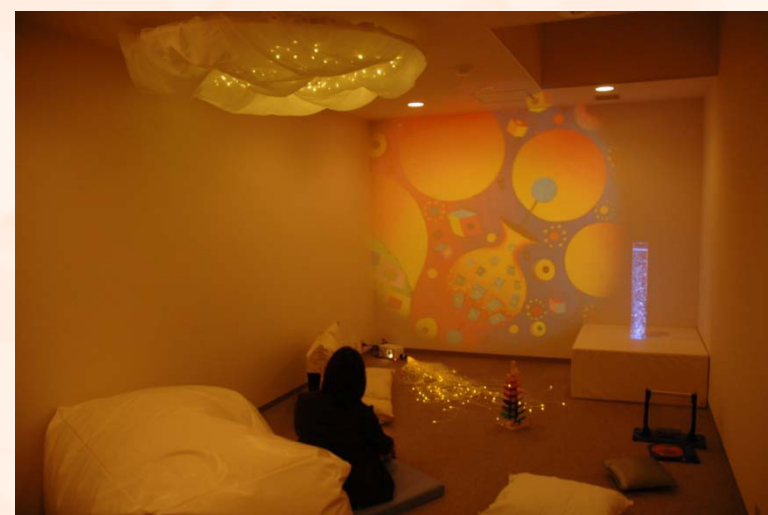
- ・幼稚園を通じて保護者に結果の通知。必要に応じて園と市、保護者との面談。
- ・市内専門機関の紹介や園での支援方法などを助言。

【市子ども支援課】  
(京都府中丹東保健所)

# 舞鶴こども発達支援施設「さくらんぼ園」

成長や発達に、丁寧な配慮や支援が必要な子どもたちが通う施設。  
主に就学前の発達支援に係る市内関係機関の中心機関。

- 療育指導(児童デイサービス)
- 関係機関訪問・訪問指導
- 相談支援



※平成22年5月に移転し、個別指導室やスヌーズレン室(光、音、匂い、振動などを組み合わせたリラクゼーションの部屋)などを整備。

【市子ども支援課】  
(市社会福祉協議会)

# 発達支援ファイル

目的:

乳幼児期、学齢期、成人期にわたる継続した成長や医療、保健、福祉等の支援内容を記録することによって、保護者にとっては子ども成長記録簿として、また支援機関がこのファイルを見ることにより、これまでの成長過程を把握でき、継続した支援をすぐに開始することができる。



【市子ども支援課】  
(京都府舞鶴こども療育センター)

## ファイルの構成：

- 対象児のプロフィール、家族構成
- 妊娠中、出産時、新生児期の状態
- 乳児期、幼児期、学童期、青年期、成人期の記録  
保健センターのかかわり、福祉、医療の記録
- 巻末資料

## ポイント：

- 第1版の試行利用者の意見をもとに改良した第2版完成・配付  
(H22. 12～)
- 原則、市町村が作成・無償配付  
発達支援ファイルの必要性が求められる時点で保護者が所持
- 保護者に活用してもらうことを前提に、じっくり、ゆっくり浸透させる
- 保護者や関係機関が直接ファイルに記入  
※医師は診断書等のコピーを綴る  
(医師がファイルに直接記入すると診断書料が発生するため)
- パソコン処理が可能  
舞鶴こども発達支援施設「さくらんぼ園」が開発、有償

# 『発達支援ファイルシステム』

発達支援ファイルシステム

F1 F2 F3 F4 F5 印刷 F7 F8 登録 F10 削除 終了

5:学童期の成長発達 6:青年期～成人期 7:福祉的かかわり 8:保健センターのかかわり 9:医療的かかわり MEMO  
0:プロフィール 1:環境 2:周産期から新生児期まで 3:乳児期(～1歳)の成長発達 4:幼児期(1歳～就学)の成長発達

発達支援ファイルシステム

ファイル

新規作成

児童選択

児童情報

氏名:

性別:

生年月日:

年齢:

メニュー

[0:プロフィール](#)

[1:環境](#)

[2:周産期から新生児期まで](#)

[3:乳児期\(～1歳\)の成長発達](#)

[4:幼児期\(1歳～就学\)の成長発達](#)

[5:学童期の成長発達](#)

[6:青年期～成人期](#)

[7:福祉的かかわり](#)

[8:保健センターのかかわり](#)

[9:医療的かかわり](#)

[MEMO](#)

児童情報

氏名

フリガナ

性別 男 血液型 不明

生年月日

郵便番号

都道府県

市町村郡

番地

マンション名等

電話番号

F A X

緊急連絡先

郵便番号

都道府県

市町村郡

番地

マンション名等

氏名

電話番号

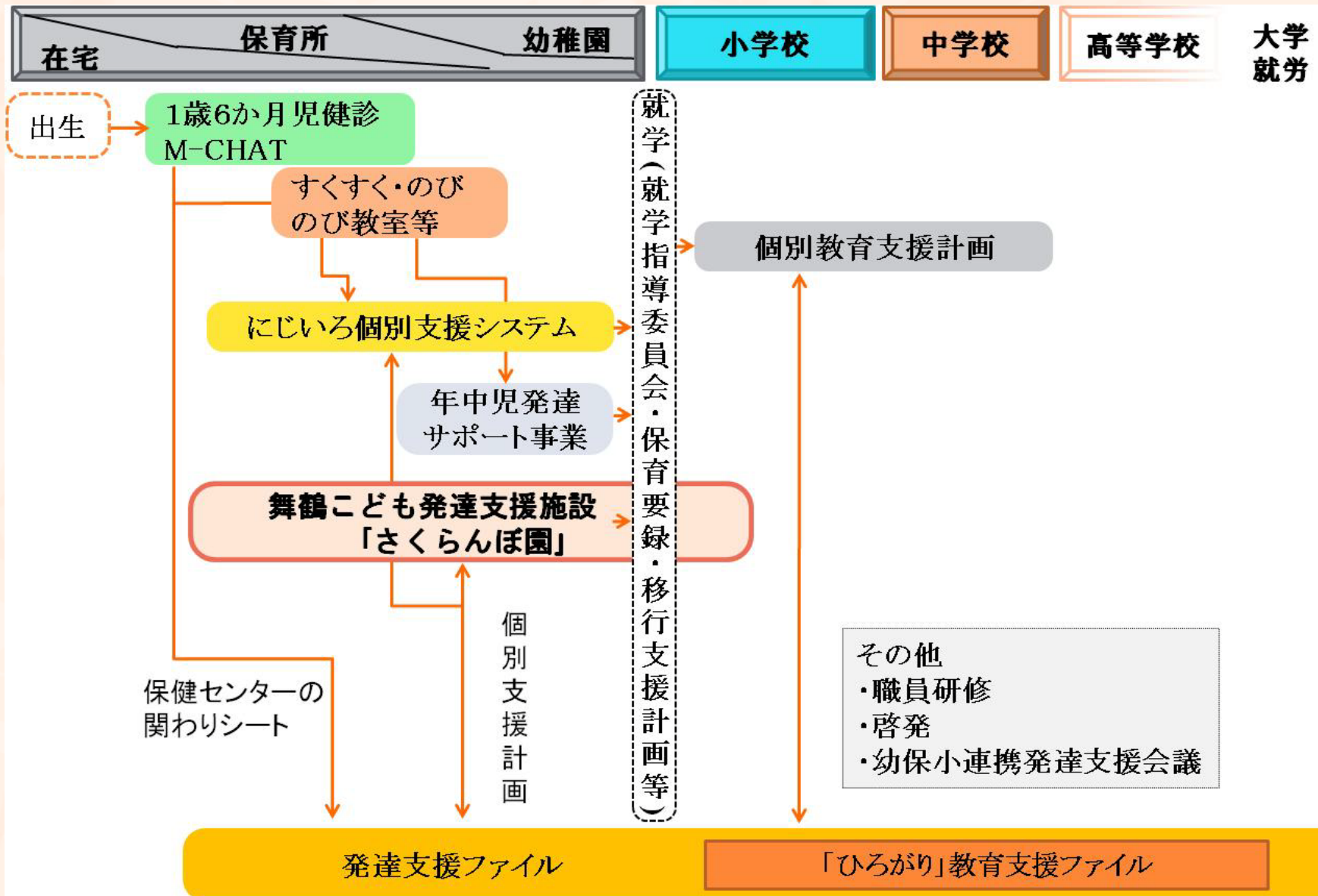
写真

参照 クリア

氏名を入力して下さい

# 取り組みの配置イメージ

(参考)



## ■今後の課題

- ①各取り組みの評価分析 ⇒ 舞鶴市としての平準化
- ②“にじいろ個別支援システム”（保育所）と“年中児発達サポート事業”（幼稚園）を融合した新たな幼・保巡回システムの構築
- ③各現場担当者のスキルアップ
- ④高等学校等卒業後の進路・就労支援
- ⑤ピアカウンセリング ⇒ 平成23年度より実施見込み
- ⑥その他